



平成30年9月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	56,491,390 万円	100.0%	103.4% (102.1%)	54,965,106 万円	102.1% (100.6%)
食 料 品	48,685,779 万円	86.2% (86.0%)	103.8% (102.8%)	47,270,139 万円	102.4% (101.0%)
農 産	7,760,598 万円	13.7% (13.5%)	106.6% (108.3%)	7,539,882 万円	105.2% (105.6%)
水 産	4,274,011 万円	7.6% (7.5%)	102.7% (99.9%)	4,150,195 万円	101.3% (97.3%)
畜 産	6,116,251 万円	10.8% (10.1%)	103.5% (100.6%)	5,931,618 万円	101.8% (98.2%)
惣 菜	5,642,852 万円	10.0% (10.6%)	104.6% (104.2%)	5,463,508 万円	102.8% (101.9%)
日配食品	11,129,746 万円	19.7% (19.4%)	103.0% (102.6%)	10,808,397 万円	101.6% (101.4%)
加工食品	13,762,322 万円	24.4% (24.9%)	103.1% (101.5%)	13,376,540 万円	102.0% (100.4%)
生活関連	3,368,318 万円	6.0% (6.1%)	100.6% (98.4%)	3,302,456 万円	100.2% (98.0%)
衣 料 品	1,421,875 万円	2.5% (2.5%)	97.7% (95.5%)	1,407,459 万円	98.2% (96.3%)
そ の 他	3,015,418 万円	5.3% (5.4%)	102.8% (98.4%)	2,985,051 万円	102.2% (98.8%)

② 数 値

全店総売上高	56,491,390 万円	店 舗 数	4,732 店舗
総売場面積	9,570,957.2 m ²	総従業員数	248,977 人

店舗平均月商	11,938.2 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,895.9 円 (103.1%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円 (6.2 万円)	平均店舗面積	2,022.6 m ²
月間坪売上(前月)	19.5 万円 (20.6 万円)	パート比率(前月)	76.9% (77.3%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 9月の天候について、月の平均気温は東日本と西日本で平年並み、北日本は高く、沖縄・奄美ではかなり高かった。また、東日本と西日本では、秋雨前線が停滞しやすく曇りや雨の日が多かったため、日照時間はかなり少なく、台風第21号や第24号の影響もあり、降水量はかなり多かった
- ・ 9月6日、マグニチュード6.7、最大震度7の「北海道胆振東部地震」が発生した
- ・ 生鮮品の相場状況について、青果では野菜と果実がともに高値となった。水産物は市場への総入荷量はほぼ前年並み、昨年不漁により高値であった「サンマ」が今年は豊漁により安値であった。畜産物では和牛が高値で推移した一方、国産の豚肉と鶏肉の「むね肉」が安値で推移した
- ・ 前年と比べ、日曜日が1回多く金曜日が1回少ない曜日廻りとなり、土・日・祝日の回数は2回多い曜日廻りであったため、売上にはプラスの影響を与えた

《 商品動向 》

・ 農産

- ・ テレビ番組で紹介された放映効果により「舞茸」が好調であった
- ・ 北海道で発生した地震の影響により安定供給が出来なかった「じゃがいも」が不調であった
- ・ 国産果実では「ぶどう」と「みかん」が好調であった一方、「梨」が供給量が少なく不調、「りんご」と「柿」は好不調が分かれた
- ・ 輸入果実では「キウイフルーツ」が好調であった

・ 水産

- ・ 水産の既存店売上高が2ヶ月ぶりに前年同月比を上回った
- ・ 水揚げが好調な「サンマ」や「秋鮭」が好調であったほか、「貝・海藻類」が好調であった
- ・ 価格の高騰により「うなぎ」が不調、その他では「マグロ」や「いか」が不調であった

・ 畜産

- ・ 畜産の既存店売上高が2ヶ月ぶりに前年同月比を上回った
- ・ 精肉では全畜種、概ね好調であった
- ・ 用途別においては牛肉の「ステーキ用」と「焼肉用」が好調であった

・ 惣菜

- ・ 「唐揚げ」「天ぷら」などの揚げ物が好調であった
- ・ 旬の食材を使用した「カキフライ」や「サンマの塩焼き」が好調であった

- ・ 日配・加工食品

- ・ テレビ番組で紹介された放映効果と野菜相場高の影響により「漬物」が好調であった
- ・ 野菜相場高の影響により「マヨネーズ」や「ドレッシング」が不調であった
- ・ 北海道で発生した地震の影響により安定供給が出来なかった「牛乳」と「乳製品」が不調であった一方、度重なる気象災害による防衛意識の高まりから、パックご飯や缶詰などの保存食が好調であった
- ・ 「納豆」の好調が続いている
- ・ 地域による気温環境により「鍋つゆ」は好不調が分かれた
- ・ 10月から値上げとなるため「たばこ」の売上が好調であった

- ・ 秋の彼岸の動向について

- ・ お供え用の「花」の他、「おはぎ」と「だんご」が好調であった一方、「落雁」は不調であった

以 上